

2/16~17 大阪市へ

防災研修に行ってきました。

広報いわたき



●発行者●
 岩滝まちづくり
 協議会
 TEL 31-1073
 FAX 77-9409
 メール
 iwataki@hidataya.
 yama.ne.jp



今回の防災研修旅行は大阪府立阿倍野防災センター「あべのタスカル」に行ってきました。
 防災学習施設ということもあり火災、地震、津波などに遭遇した時の対応策等を中心に展示してあり、特に地震については、近い将来起こる確率が高いと言われている南海トラフ地震の予想災害規模や津波の範囲、規模等の説明や、予想される揺れを体験しました。
 今回体験した揺れでもかなり激しい揺れで時間も長く感じましたが、実際はもっと強く長い時間揺れるであろうと予想されているということで改めて地震の恐ろしさを感じました。
 岐阜県においても震度4、震度5弱もしくはそれ以上と予想されていること、飛騨地域においても



地震体験

一部家屋の倒壊や山の斜面の崩壊などの被害がでるかもしれないことを聞きました。
 その他に関西ということもあり阪神・淡路大震災の詳しい被害や状況、被災からの復興などの映像や災害発生時の避難支援者を安全に避難させる方法、身近にある資機材等を使用した救助方法、災害発生直後の街に潜む危険、災害時に役立つ防災グッズなど学ぶことが出来ました。
 今回の研修旅行にて南海トラフ地震など、この先起こりうる災害に消防団として出来ること、やらなければいけないこと、岩滝地域においてはどのような被害が起こりうるかを認識し今一度皆で考え話し合う機会になりました。
 (レポート 中島康順)

岩滝まち協の一年

岩滝まち協になって5年目の年度末になり、今年1年間の主な活動をまとめてみました。詳しくは、これからのまち協総会資料をご覧ください。

総務環境部

○花壇コンクール
団体14、個人3の応募があり、どの花壇も美しく整備されていきました。

○岩滝フォトコンテスト
第4回目の今年度は112点もの応募があり、エブリ東山などで展示して多くの人に見ていただきました。今、カレンダーができましたので配布します。

○広報発行
広報を9号発行することができました。もっと地域のニュースをたくさん掲載したいと思えます。

○ホームページ
元田吉弘さんに何度も岩滝へ足を運んでいただいて更新してもらいました。皆様どうぞご覧ください。

○地域の便り発送
遠く離れている家族に広報を送って岩滝のことを知らせようと、広報発行の度にお送りしま



した。現在ご希望のある方は6名だけですが、希望される方は岩滝公民館までご連絡ください。

安全安心部

○防災研修会開催
まち協と町内会が一緒になって防災を考えようと、岩滝の「防災マップ」作成に取り組みました。

○子ども会研修
子どもが少なくなってきたこの頃です。今年から幼児から高校生までを子ども会会員として活動しました。夏にはリトルワールドへ行ってきました。

○寺子屋
夏休み中岩滝公民館で寺子屋を行いました。児童の勉強にたくさんの方の講師の方に来ていただいて有意義な勉強ができました。



文化伝統部

○岩滝連合大運動会
去年は雨天でしたが、今年はず晴天。たくさんの方の参加で盛り上げていただきました。来年は児童数10名になります。地域の方々の益々のご協力をお願いします。

○スポーツ大会
グラウンドゴルフ大会44名、ボーリング大会51名の参加で



楽しみました。賞品多数あり。

○伝統芸能保存
今年祭りの継承のため、岩井神社の祭り練習DVDを作成して、岩井町全戸に配布しました。

○まち協研修旅行
関ヶ原で歴史学習。養老天命反転地では遊びと体力作り。32名の参加で楽しく行ってきました。

○教養講座
「星空観察会」「日本酒講座」をおこないました。こんなことをやりたいという希望があればどうぞお知らせください。

地域活性化部

○敬老祝賀会
70歳以上の方86名中、33名の参加で日本舞踊と懐かしいフォークソングを楽しみました。来年度は11月15日に行います。たくさんの方々の参加をお待ちしています。

○森の音楽会
第3回目となる森の音楽会は、いろいろな楽器の演奏者10名をお招きして幼児から大人100名をこえる皆様にご参加いただきました。岩滝以外からも参加者が多く、岩滝を知ってもら



ういい機会にもなりました。

夏祭り実行委員会

岩滝にこんな人がいたの？と驚くくらい、数百人の人に集まってもらって楽しいひと時になりました。実行委員となってくれた消防団の若手の人達のおかげです。「またやりたいな」という声があがってきたら是非やりましょう。

お知らせ

「ささゆり号」の5年間のリース期間が8月で終了します。高齢者や足の不自由な方などの運搬と見守りを目的に導入したのですが、実際は国土交通省の認可がおりず、人を乗せて運ぶことはできませんでした。維持のためには、年間47万円ほどが必要であったため、これでささゆり号は無くそうと思えますが、それに替わる何かいい方法はないでしょうか。

高齢者の見守りのためにいいお知恵があればお知らせください。皆様のお考えを聞かせていただいで、新年度のまち協の計画をしたいと思えます。

